

知っていますか？ 呉市が 子どもに渡したくない 教科書を採択したこと

今年度は来年度から中学校で使用される教科書が採択される年です。9月1日、ここ呉市でも採択結果が発表され、歴史と公民はあの「育鵬社」(扶桑社の子会社)の教科書が採択されました。育鵬版歴史・公民教科書は「子どもに渡したくない教科書」と言われ、全国の自治体で採択反対の声が挙がっています。今回の採択での同社のシェアは全国で歴史 3.79%、公民 4.16%に過ぎません。呉の教育委員会がなぜ育鵬社の教科書を選んだのか疑問の声が広がっています。

教科書の役割の一つは、人類が築いてきた学問や文化の成果を伝えることです。だから「事実」に基づいて書かれていることが重要であることは言うまでもありません。

ところが、同教科書では気になる記述が目につきます。例えば、沖縄戦の集団自決は「日本軍の強制」という記述をなくし、沖縄住民の意思で行ったような印象を与える書き方です。日本のアジア侵略が植民地を豊かにしたようなイメージで書かれています。今問題になっている原発に関して、他者のように安全性の問題や廃棄物の問題に触れておらず、役立つ点ばかり目立ちます。他にも気になる箇所はたくさんあります。でも、呉市を含む一部の地域で採択されました。(県内では尾道市も)

このまま子どもたちに渡すことに危険を感じます。呉市の採択制度も不安です。

今回の採択に関する文書が呉市から公開されました。気になる記述が多い教科書なのに高得点がつけられています。議事録を見ると、論議がほとんどないままに(歴史・公民)決定しています。このような採択の仕方も大いに気になります。このようにして選んだ本を子どもたちに渡すことは大いに疑問です。

ともに学び出来ることに取り組みましょう！

いっしょに教科書のこと、採択のことを学びましょう。そして、呉の子どもたちが間違ったことが伝わらないように、出来ることに取り組みましょう。

こどもの教科書を考える学習会

日時:11月20日(日)13時~16時 場所:ビューポートくれ2F大会議室

参加費無料

講師:俵義文さん 子どもと教科書全国ネット21事務局長

主催:呉教科書ネット準備会
連絡先:21-2721(呉教育会館)